

令和7年度 第3回 北海道上川地域公共交通活性化協議会 総会

日時：令和7年8月21日（木）（書面開催）

次 第

1 議 案

（1） 北海道上川地域公共交通計画の一部改定について

（配布資料）

資料1 北海道上川地域公共交通計画一部改訂 新旧対照表（案）

○北海道上川地域公共交通計画の一部を次のとおり改定する。

新旧対照表 (案)

新				旧			
6-3 かみかわ地域における広域交通（路線バス）の維持・確保方針				6-3 かみかわ地域における広域交通（路線バス）の維持・確保方針			
表 6-1 広域交通（路線バス）の維持・確保方針				表 6-1 広域交通（路線バス）の維持・確保方針			
方面	路線名	役割	維持・確保の方針	方面	路線名	役割	維持・確保の方針
旭川市・名寄市方面	名寄線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 20.0 人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国道 40 号線沿いの病院への通院や高校への通学など地域住民の生活交通として機能している。 ○ 並行する JR 宗谷本線と同様に広域的輸送の機能の一部を担っている。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、沿線住民の日常生活の移動や広域的な移動手段を持続的に確保していく。 また、住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段の確保に努める。	旭川市・名寄市方面	名寄線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 20.0 人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国道 40 号線沿いの病院への通院や高校への通学など地域住民の生活交通として機能している。 ○ 並行する JR 宗谷本線と同様に広域的輸送の機能の一部を担っている。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、沿線住民の日常生活の移動や広域的な移動手段を持続的に確保していく。 また、住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段の確保に努める。
	愛別線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 20.0 人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国道 40 号線沿いの病院への通院や高校への通学など地域住民の生活交通として機能している。 ○ 並行する JR 宗谷本線、JR 石北本線と同様に広域的輸送の機能の一部を担っている。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助、車両減価償却費補助）を活用し、沿線住民の日常生活の移動や広域的な移動手段を持続的に確保していく。 また、住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段の確保に努める。		愛別線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 20.0 人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国道 40 号線沿いの病院への通院や高校への通学など地域住民の生活交通として機能している。 ○ 並行する JR 宗谷本線、JR 石北本線と同様に広域的輸送の機能の一部を担っている。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助、車両減価償却費補助）を活用し、沿線住民の日常生活の移動や広域的な移動手段を持続的に確保していく。 また、住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段の確保に努める。
旭川市・上川町方面	層雲峠線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 20.7 人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旭川市内の病院への通院など地域住民の生活交通として機能している。 ○ JR 石北本線と同様に広域的輸送の機能の一部を担っている。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、沿線住民の日常生活の移動や広域的な移動手段を持続的に確保していく。 また、住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段の確保に努める。	旭川市・上川町方面	層雲峠線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 20.7 人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旭川市内の病院への通院など地域住民の生活交通として機能している。 ○ JR 石北本線と同様に広域的輸送の機能の一部を担っている。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、沿線住民の日常生活の移動や広域的な移動手段を持続的に確保していく。 また、住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段の確保に努める。
	当麻線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 43.5 人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当麻町市街地と当麻町民の生活圏である旭川市永山地区とを直接結ぶ路線として利用が多く、地域住民の生活交通として機能している。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、沿線住民の日常生活の移動や広域的な移動手段を持続的に確保していく。 また、住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段の確保に努める。		当麻線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 43.5 人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当麻町市街地と当麻町民の生活圏である旭川市永山地区とを直接結ぶ路線として利用が多く、地域住民の生活交通として機能している。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、沿線住民の日常生活の移動や広域的な移動手段を持続的に確保していく。 また、住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段の確保に努める。

新				旧			
方面	路線名	役割	維持・確保の方針	方面	路線名	役割	維持・確保の方針
旭川市～富良野市方面	白金線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 17.1人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 美瑛駅からびえい白金温泉や白金青い池への観光利用や旭川市内での利用が多い。 ○ 旭川市内の病院への通院など地域住民の生活交通として機能している。 	地域公共交通確保維持改善事業（ <u>地域間幹線系統補助、車両減価償却費補助</u> ）を活用し、沿線住民の日常生活の移動や、広域的な移動手段を持続的に確保していく。 また、沿線のびえい白金温泉や白金青い池への観光利用を充実させるためJRとの接続改善を行うなど、観光客や住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を図りながら、移動手段の確保に努める。	旭川市～富良野市方面	白金線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 17.1人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 美瑛駅からびえい白金温泉や白金青い池への観光利用や旭川市内での利用が多い。 ○ 旭川市内の病院への通院など地域住民の生活交通として機能している。 	地域公共交通確保維持改善事業（ <u>地域間幹線系統補助</u> ）を活用し、沿線住民の日常生活の移動や、広域的な移動手段を持続的に確保していく。 また、沿線のびえい白金温泉や白金青い池への観光利用を充実させるためJRとの接続改善を行うなど、観光客や住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を図りながら、移動手段の確保に努める。
	旭川線 (ラベンダー号) 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 54.4人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 富良野市から中富良野町、上富良野町、美瑛町の市街地や旭川空港、旭川医大病院を経由して旭川市へ至る路線として、沿線市町村から旭川市や富良野市への病院への通院等の生活路線としての利用が多い。 ○ 旭川空港から沿線の観光地へ向かうことができる観光路線としての側面を併せ持ち、観光客の利用も多い。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用するとともに、旭川空港での航空機との接続改善の検討やJR富良野線との連携など、地域の公共交通サービスの利用促進に向けて、現行の交通体系を維持していく。 また、観光客や住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段の確保に努める。		旭川線 (ラベンダー号) 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 54.4人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 富良野市から中富良野町、上富良野町、美瑛町の市街地や旭川空港、旭川医大病院を経由して旭川市へ至る路線として、沿線市町村から旭川市や富良野市への病院への通院等の生活路線としての利用が多い。 ○ 旭川空港から沿線の観光地へ向かうことができる観光路線としての側面を併せ持ち、観光客の利用も多い。 	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用するとともに、旭川空港での航空機との接続改善の検討やJR富良野線との連携など、地域の公共交通サービスの利用促進に向けて、現行の交通体系を維持していく。 また、観光客や住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段の確保に努める。
	旭川空港経由 旭岳線 (いで湯号) 【地域間幹線系統】 (R6 計画輸送量 15.0人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旭川市から旭川空港を経由し、旭岳ロープウェイに至る路線で、主に観光目的での輸送を担っている。 	地域公共交通確保維持改善事業（ <u>地域間幹線系統補助、車両減価償却費補助</u> ）を活用し、沿線住民の日常生活の移動や観光客の広域的な移動手段を確保していくとともに、利用促進を図っていく。		旭川空港経由 旭岳線 (いで湯号) 【地域間幹線系統】 (R6 計画輸送量 15.0人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旭川市から旭川空港を経由し、旭岳ロープウェイに至る路線で、主に観光目的での輸送を担っている。 	地域公共交通確保維持改善事業（ <u>地域間幹線系統補助</u> ）を活用し、沿線住民の日常生活の移動や観光客の広域的な移動手段を確保していくとともに、利用促進を図っていく。

新				旧			
方面	路線名	役割	維持・確保の方針	方面	路線名	役割	維持・確保の方針
名寄市近郊地域	恩根内線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 21.8 人)	○ 名寄市から美深町市街地を経由し美深町恩根内地区へ至る路線として、美深町から名寄市のみならず、美深高校への通学に利用されており、必要な生活路線として機能している。	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、沿線住民の日常生活の移動や広域的な移動について持続可能な移動手段を確保していくとともに利用促進を図っていく。	名寄市近郊地域	恩根内線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 21.8 人)	○ 名寄市から美深町市街地を経由し美深町恩根内地区へ至る路線として、美深町から名寄市のみならず、美深高校への通学に利用されており、必要な生活路線として機能している。	地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、沿線住民の日常生活の移動や広域的な移動について持続可能な移動手段を確保していくとともに利用促進を図っていく。
	下川線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 13.8 人)	○ 名寄市から下川町へ至る路線として、下川町民の生活圏である名寄市を結ぶ生活路線として機能している。			下川線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 13.8 人)	○ 名寄市から下川町へ至る路線として、下川町民の生活圏である名寄市を結ぶ生活路線として機能している。	
	興部線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 17.5 人)	○ 廃止となったJR名寄本線の代替バスとして運行を開始し、名寄市から興部町へ至る路線として、沿線住民の通院・通勤・通学等に利用される広域的な生活路線として機能している。			興部線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 17.5 人)	○ 廃止となったJR名寄本線の代替バスとして運行を開始し、名寄市から興部町へ至る路線として、沿線住民の通院・通勤・通学等に利用される広域的な生活路線として機能している。	
	中多寄線 (日向経由) 【市町村単独補助路線】	○ 士別市から士別市中多寄地区、日向温泉を経由し、名寄市の風連地区に至る路線で、主に日向温泉へ利用される生活路線として機能している。			中多寄線 (日向経由) 【市町村単独補助路線】	○ 士別市から士別市中多寄地区、日向温泉を経由し、名寄市の風連地区に至る路線で、主に日向温泉へ利用される生活路線として機能している。	
	深名線	○ 廃止となったJR深名線の代替バスとして、名寄市、幌加内町、深川市を結ぶ複数系統からなる路線として、沿線住民の通院・通勤・通学等に利用される広域的な生活路線として機能している。			深名線	○ 廃止となったJR深名線の代替バスとして、名寄市、幌加内町、深川市を結ぶ複数系統からなる路線として、沿線住民の通院・通勤・通学等に利用される広域的な生活路線として機能している。	
富良野市近郊地域	西達布線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 10.2 人) ※R6.4～広域生活路線から地域間幹線系統に変更	○ JR根室本線一部廃止による代替バスとして、令和6年4月から終点を西達布から幾寅駅まで延伸し、通学等に利用される生活路線として機能させていく。	JR根室本線（富良野駅～新得駅）の廃止を踏まえて、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、沿線住民の日常生活や広域的な移動について持続可能な移動手段を確保していくとともに利用促進を図っていく。	富良野市近郊地域	西達布線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 10.2 人) ※R6.4～広域生活路線から地域間幹線系統に変更	○ JR根室本線一部廃止による代替バスとして、令和6年4月から終点を西達布から幾寅駅まで延伸し、通学等に利用される生活路線として機能させていく。	JR根室本線（富良野駅～新得駅）の廃止を踏まえて、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、沿線住民の日常生活や広域的な移動について持続可能な移動手段を確保していくとともに利用促進を図っていく。
	トマム線 【市町村生活バス路線】 (R4 平均輸送人員 0.7 人)	○ 占冠村市街から幾寅駅（南富良野町）に至る路線で、占冠村から南富良野高校への通学等に利用される生活路線として機能している。	JR根室本線（富良野駅～新得駅）の廃止を踏まえて、沿線住民の日常生活や広域的な移動について持続可能な移動手段を確保していくとともに利用促進を図っていく。		トマム線 【市町村生活バス路線】 (R4 平均輸送人員 0.7 人)	○ 占冠村市街から幾寅駅（南富良野町）に至る路線で、占冠村から南富良野高校への通学等に利用される生活路線として機能している。	JR根室本線（富良野駅～新得駅）の廃止を踏まえて、沿線住民の日常生活や広域的な移動について持続可能な移動手段を確保していくとともに利用促進を図っていく。
	富良野線 【市町村生活バス路線】 (R4 平均輸送人員 5.1 人)	○ 占冠村市街地から金山駅（南富良野町）を経由して、富良野市へ至る路線で、占冠村だけではなく南富良野町内から富良野市内の病院への通院等に利用される生活路線として機能している。	富良野線 【市町村生活バス路線】 (R4 平均輸送人員 5.1 人)		富良野線 【市町村生活バス路線】 (R4 平均輸送人員 5.1 人)	○ 占冠村市街地から金山駅（南富良野町）を経由して、富良野市へ至る路線で、占冠村だけではなく南富良野町内から富良野市内の病院への通院等に利用される生活路線として機能している。	JR根室本線（富良野駅～新得駅）の廃止を踏まえて、沿線住民の日常生活や広域的な移動について持続可能な移動手段を確保していくとともに利用促進を図っていく。

新				旧			
方面	路線名	役割	維持・確保の方針	方面	路線名	役割	維持・確保の方針
その他	深旭線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 16.8 人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 深川市から旭川市へ至る路線として、旭川市への通勤・通学や通院など、生活路線としての利用が多い。 	<p>地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、沿線住民の日常生活の移動を持続的に確保していく。</p> <p>また、住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段の確保に努める。</p>	その他	深旭線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 16.8 人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 深川市から旭川市へ至る路線として、旭川市への通勤・通学や通院など、生活路線としての利用が多い。 	<p>地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、沿線住民の日常生活の移動を持続的に確保していく。</p> <p>また、住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段の確保に努める。</p>
	留萌旭川線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 30.8 人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 留萌市から北竜町、秩父別町を経由して、深川市、旭川市へ至る路線として、沿線市町村から旭川市や深川市への通勤・通学や通院など、生活路線としての利用が多い。 	<p>地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、沿線住民の日常生活の移動を持続的に確保していく。</p> <p>また、J R 留萌本線（深川駅～石狩沼田駅）の今後の動向を見据えたうえで、住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段の確保に努める。</p>		留萌旭川線 【地域間幹線系統】 (R4 輸送量 30.8 人)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 留萌市から北竜町、秩父別町を経由して、深川市、旭川市へ至る路線として、沿線市町村から旭川市や深川市への通勤・通学や通院など、生活路線としての利用が多い。 	<p>地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）を活用し、沿線住民の日常生活の移動を持続的に確保していく。</p> <p>また、J R 留萌本線（深川駅～石狩沼田駅）の今後の動向を見据えたうえで、住民等の移動実態やニーズを踏まえ、最適化を検討しながら移動手段の確保に努める。</p>

附 則

この改正規定は、議決日から施行し、令和7年6月30日から適用する。